



翼



学校休業が継続する中「開校記念日」に思う 校長 井上 雅子

■緊急事態宣言の延長にともない、学校の休業も5月31日まで延長することが決定しました。この危機を無駄にすることなく、引き続き主体的に考え行動してほしいと思います。苦手な教科の克服に重点を置き、学習に取り組む有意義な時間になることを望んでいます。新たに各学年各教科から課題を配布し、学習支援システムeライブラリの活用を紹介するなど、学びを支援していきます。また一人一人電話連絡を行う等、生徒たちの不安を受け止めほぐすことができるよう全教職員で取り組んで参ります。何かご心配なこと、ご質問などありましたら遠慮なく本校へご連絡ください。

さて4月28日は、ひばりが丘中学校の開校記念日でした。本校のお誕生日ですが、学校の休業が続いていたので、皆さんでお祝いができずとても残念でした。

以下は平成29年学校だより第2号からです。

ひばりが丘中学校は昭和35（1960）年4月11日、保谷町立保谷中学校第二校舎として発足。昭和36年4月1日「保谷町立ひばりが丘中学校」という名称で、保谷市で二番目の中学校として開校しました。その後平成13年の保谷市と田無市との合併により、校名が「西東京市立ひばりが丘中学校」と改められ現在に至っています。開校当時は学校の周囲に畑が広がり、ポツンと二階建ての木造校舎が目立ち、春にはひばり（雲雀）が空高くさえずるのどかな風景でした。学校の周りには丘がなく、前の年まで畑だった校庭は、雨が降ると泥沼状態になり長靴が埋まってしまうこともあったそうです。（中略）

校章のデザインは生徒、保護者を対象に広く公募され、当時の美術担当教諭 坂本良武先生の作品が採用されました。図柄は、上保谷村の開発者 保谷出雲守直正の紋所、笹の葉とひばりにちなみ向上発展の意味を表しています。校歌は昭和37年3月に、作詞 伊波南哲（いばなんてつ）氏、作曲 津川主一（つがわしゅいち）氏により作られ制定されました。（後略）

ひばりが丘中学校の卒業生はすでに1万3000名を超えています。臨時休業が継続する中、地域、保護者、同窓会、おやじ倶楽部の方々とお電話でお話することができました。卒業生の方々からはもちろん、ひばりが丘中学校を大切に思う気持ち、こんな時だからこそ生徒たちに何かできないかという思いをひしひしと感じます。なんとか本校にお寄せになってくださる思いに伝えていかななくてはならないと強く思っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止に日々留意する中、これほど人との距離の取り方を意識したことはありません。感染拡大を防止するために厚労省が推奨するのは2メートル。ソーシャルディスタンス（社会的距離の保持）は今や世界共通語になりましたが、新聞で世界保健期間（WHO）は先ごろこれをフィジカルディスタンス（身体的距離の保持）と言い換えたとありました。「体は離れていても心の結びつきは失わないで、誰も孤立させることなくこの難局を乗り切りたい」と担当官がと訴えているそうです。

生徒の皆さん、保護者のみなさんとなかなかお会いすることができない中ですが、ひばりが丘中学校を愛し応援して下さる卒業生や地域の皆さんの思いを支えに、今の生徒の皆さんが自宅でなんとか一人で頑張っている気持ちと、生徒一人一人を心配し精一杯支えようとする本校の教職員の心がつながっていることを信じています。

■着任者から～よろしくお願いいたします

◇田無一中から異動してまいりました。ひばりが丘中学校は、私も四十数年前に中学校生活を送った大切な母校です。愛着のある校舎で自分の後輩にもあたる子供たちと一緒に充実した学校生活を送っていきたくて思っております。よろしくお願いいたします。(小池俊行)

◇今年度よりひばりが丘中学校に参りました相馬と申します。生徒と地域のために力になれるよう頑張りますので宜しくお願い致します。これからの生活を楽しみにしています。

(相馬朱花)

◇小平市立小平第六中学校から異動してきた数学科の岩元龍一郎です。始業式での2・3年生のメリハリある姿に感動しました。この原稿を作成している今、担任を受けもつ1年生とはまだ顔を合わせることができていないことが残念です。生徒の皆さんのいない学校は淋しいです。この事態が収束して学校が再開次第一緒に学校を明るくしていきましょう(岩元龍一郎)

◇皆さんはじめまして。中学1年生の副担任の宮澤です。こんなにあたたかい校舎で、温かい先生方と一緒にみなさんと学校生活を送ることができるのがとても楽しみです。私はみなさんに一番年齢が近い教員ですので何でも相談してください。心に残る学校生活の思い出を一緒に作りましょう。(宮澤藍)

■各学年の経営方針～保護者の方のご協力、ご支援をどうかよろしくお願いいたします。

《一学年経営方針》 学年主任 主任教諭 小池俊行

☆ それぞれの役割をきっちりと果たしながら全教員で協力し、3年間を見通して生徒を指導し育てていきます。

〈学年生徒心得〉～3年間の中学校生活で意識していくこと

『相手の立場にたって考える姿勢を大切にし、仲間との“信頼関係”を築き上げよう!』

～人・時・物を大切に～

《二学年経営方針》 学年主任 主任教諭 太田陽一

スローガン「感謝・協力・自主自立」

学年目標 ・ひばりが丘中学校の中心学年として、下級生の手本となり、中学生としての正しい言葉遣いや、進んで挨拶のできる気持ちを育む。

・学校教育目標「自ら学ぶ」ことを実現させるために、学習の意義を理解させ授業の規律を守りながら、進んで学習に取り組む態度を育成する。

《三学年経営方針》 学年主任 主任教諭 當麻忠幸

中学校生活、および義務教育最後の一年間になります。最高学年としての責任と誇りを持ち、下級生たちの模範となることを目標にしつつ、社会で通用する態度やマナーも同時に育成していきたいと思っております。また、これまでの進路学習の成果を生かし、主体的に進路選択に臨めるようさらに指導をしていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

■学校行事等の変更について

学校休業が延長される中、多くの行事が変更になります。すぐに行いたい保護者会、PTA総会、おやじ倶楽部総会、学校運営連絡協議会等については学校の再開が未定のため未だ日程をお知らせすることができません。大変申し訳ありません。今のところ変更した行事について以下にお伝えいたします。状況によってはこれらの行事もさらに変更または中止となる可能性があります。またこれらの行事の来賓や保護者の参加の制限、内容の縮小もあることが予想されます。どうかご理解いただきますようお願いいたします。

運動会 10月10日(土) 合唱コンクール 3月11日(木) 狭山市民市民会館 3年生修学旅行 2月26日(金)～2月28日(日)
--

■メール配信サービスについて：新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、いまだ解除にいたっておりません。学校の休業もまだ継続する中、メール配信サービスのご登録がまだのご家庭は、なるべくご登録いただきますよう、よろしくお願いいたします。